

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題

申請者名（法人名）

受験者の氏名

（※注意事項）

設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

I. 次の問題1から13の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を（ ）内に記入しなさい。

問題1（適正な取引の確保）

一般貨物自動車運送事業者等は、運送条件が明確でない運送の引受け、運送の直前若しくは開始以降の運送条件の変更又は運送契約によらない附帯業務の実施に起因する運転者の過労運転又は過積載による運送その他の経営の安定を阻害する行為を防止するため、荷主と密接に連絡し、及び協力して、適正な取引の確保に努めなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（ ）

問題2（事故の報告）

事業者は、その事業用自動車事故を起こしたときは、たとえ軽微な事故であっても遅滞なく国土交通大臣に届け出なければならない。（貨物自動車運送事業法）

（ ）

問題3（報告書の提出）

事業者は、その使用する自動車について省令で定める事故があった場合には、30日以内に当該事故ごとに自動車事故報告書を当該自動車の使用の本拠の位置を管轄する運輸支局長を経由して国土交通大臣に提出しなければならない。（自動車事故報告規則）

（ ）

問題 4 (運行指示書による指示等)

一般貨物自動車運送事業者等は、運行指示書及びその写しを運行の終了の日から3年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

()

問題 5 (事業の休止及び廃止)

一般貨物自動車運送事業者は、その事業を休止、又は廃止するときは、あらかじめその旨を国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法)

()

問題 6 (定期点検整備)

一般貨物自動車運送事業の用に供する自動車は6ヶ月毎に定期点検整備を行わなければならない。(道路運送車両法)

()

問題 7

この法律は、私的独占、不当な取引制限及び不公正な取引方法を禁止し、事業支配力の過度の集中を防止して、結合、協定等の方法による生産、販売、価格、技術等の不当な制限その他一切の事業活動の不当な拘束を排除することにより、公平且つ自由な競争を促進し、事業者の創意を發揮させ、事業活動を盛んにし、雇傭及び国民実所得の水準を高め、以て、一般消費者の利益を確保するとともに、国民経済の民主的で健全な発達を促進することを目的とする。

(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

()

問題 8 (事故報告)

事業者は、十台以上の自動車の衝突又は接触を引き起こした場合、死者又は重傷者が生じていなくても自動車事故報告書を提出しなければならない。

(自動車事故報告規則)

()

問題 9

一般貨物自動車運送事業者等は、必要に応じ、運行管理者の職務及び権限、統括運行管理者を選任しなければならない営業所にあつてはその職務及び権限並びに事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務の処理基準に関する規程を定めることができる。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

()

問題 10 (目的)

この法律は、貨物自動車運送事業法と相まって、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとし、並びに道路運送の分野における利用者の需要の多様化及び高度化に的確に対応したサービスの円滑かつ確実な提供を促進することにより、輸送の安全を確保し、自動車運送事業者の利益の保護及びその利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もって公共の福祉を増進することを目的とする。（道路運送法）

()

問題 11 (運行管理者等の選任)

一般貨物自動車運送事業者は、一般貨物自動車運送事業者が行う運行管理に関する教育を行うことにより、従業員のうちから運行管理者の業務を補助させるための者を選任することができる。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

()

問題 12 (事業報告)

労使当事者は、時間外労働協定において貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者に係る一定期間についての延長時間について協定するに当たっては、当該一定期間は、2週間及び1箇月以上6箇月以内の一定の期間とするものとする。（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準）

()

問題 13 (過労運転の防止)

一般貨物自動車運送事業者等は、事業計画に従い業務を行うに必要な員数の事業用自動車の運転者を常時選任するよう努めなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

()

II. 次の問題 1 4 から 2 2 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 1 4 (事業改善の命令)

国土交通大臣が一般貨物自動車運送業の適性かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときに、事業者に対し、必要な措置を命ずることができる事項として、下記の中で正しいものを 1 つ選び () 内に記入しなさい。

(貨物自動車運送事業法)

- ア. 事業者の氏名、名称又は住所を変更すること。
- イ. 役員又は社員を変更すること。
- ウ. 運送約款を変更すること。

()

問題 1 5 (速報)

貨物自動車運送事業者等は、その使用する自動車について、自動車事故報告規則で規定する事故があった場合には 2 4 時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならないこととされている。次のア～ウについて、その速報対象となる事故として、正しいものには○を、誤っているものについては×を () 内に記入しなさい。(自動車事故報告規則)

- ア. 2 人以上の死者を生じた事故 ()
- イ. 自動車に積載されたコンテナが落下した事故 ()
- ウ. 無免許運転に伴って発生した事故 ()

問題 1 6 (事業報告書及び事業実績報告書)

事業者は貨物自動車運送事業報告規則に定める報告書を、提出期限までに提出しなければならないことになっています。次の①と②の報告書の報告期間及び提出期限をア～カの中から選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則)

- ① 事業報告書 ()
- ② 事業実績報告書 ()

- ア. 前年1月1日から12月31日までの期間に係るものを毎年5月31日まで
- イ. 前年4月1日から3月31日までの期間に係るものを7月10日まで
- ウ. 前年10月1日から9月30日までの期間に係るものを毎年12月31日まで
- エ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後100日以内
- オ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後120日以内
- カ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後毎年5月31日まで

問題17 (運行指示書による指示等)

次のうち運行指示書による指示として正しくないものを1つ選び()内に記入しなさい。(貨物自動車輸送安全規則)

- ア. 運行の経路並びに主な経過地における発車及び到着の日時
- イ. 運行の経路上で交通取り締まり等がおこなわれている箇所の位置
- ウ. 運行中乗務員の休憩が必要な場合の休憩地点及び休憩時間

()

問題18 (届出)

次の届出のうち誤っているものを1つ選び()内に記入しなさい。

(貨物自動車運送事業法施行規則、貨物自動車運送事業報告規則)

ア. 一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者たる法人であつて、役員又は社員に変更があつた場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に届け出なければならない。

イ. 運賃及び料金を定め又は変更するときは、運賃及び料金の設定又は変更前30日以内に、運賃料金設定(変更)届出書を所轄地方運輸局長又は国土交通大臣に提出しなければならない。

ウ. 一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に届け出なければならない。

()

問題 19 (運行管理者の業務)

貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定されている運行管理者の業務について、運行管理者が行わなければならない事項の () にあてはまる語句を下のア～シの中から選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第20条)

- ・運転者に対して (①) を行い、報告を求め、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存すること。
- ・ (②) 台帳を作成し、営業所に備え置くこと。
- ・乗務員に対する指導、監督及び特別な指導を行い、並びに運転者に対して (③) 診断を受診させること。

ア. 健康 イ. 運転者 ウ. 会議 エ. 選任 オ. 点検 カ. 適性 キ. 電話 ク. 初任 ケ. 乗務 コ. 点呼 サ. 給与 シ. 道路

① () ② () ③ ()

問題 20 (自動車に関する表示)

次の条文中、(①) にあてはまる正しい語句を、ア～ウの中から選び () 内に記入しなさい。

自動車(軽自動車たる自家用自動車、乗車定員十人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。)を使用する者は、その自動車の外側に、使用者の氏名、(①) その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。(道路運送法)

- ア. 住所及び連絡先
- イ. 名称又は記号
- ウ. 営業所及び所在地

① ()

問題 2 1 (駐車及び停車を禁止する場所)

停車または駐車をしてはならない場所として正しいものを2つ選び () 内に記入しなさい。(道路交通法)

- ア. 交差点の側端から3メートル以内の部分
- イ. 横断歩道の前後の側端からそれぞれ前後に5メートル以内の部分
- ウ. 乗合自動車の停留所を表示する標示柱が設けられている位置から5メートル以内の部分(当該停留所に係る運行系統に属する乗合自動車の運行時間中に限る)
- エ. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分 () ()

問題 2 2 (事業計画)

一般貨物自動車運送事業者は、事業計画の変更をしようとするときは、認可又は届出が必要となります。次のア～ウについて、認可事項に該当するものに○を、そうでないものに×を () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法、貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 営業所又は荷扱所の名称の変更 ()
- イ. 休憩又は睡眠施設のための施設の位置及び収容能力の変更 ()
- ウ. 貨物自動車利用運送を行うかどうかの別 ()

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題

申請者名（法人名）

受験者の氏名

（※注意事項）

設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

I. 次の問題1から13の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を（ ）内に記入しなさい。

問題1（適正な取引の確保）

一般貨物自動車運送事業者等は、運送条件が明確でない運送の引受け、運送の直前若しくは開始以降の運送条件の変更又は運送契約によらない附帯業務の実施に起因する運転者の過労運転又は過積載による運送その他の経営の安定を阻害する行為を防止するため、荷主と密接に連絡し、及び協力して、適正な取引の確保に努めなければならない。

（貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条の4）（ × ）

問題2（事故の報告）

事業者は、その事業用自動車事故を起こしたときは、たとえ軽微な事故であっても遅滞なく国土交通大臣に届け出なければならない。

（貨物自動車運送事業法第24条）（ × ）

問題3（報告書の提出）

事業者は、その使用する自動車について省令で定める事故があった場合には、30日以内に当該事故ごとに自動車事故報告書を当該自動車の使用の本拠の位置を管轄する運輸支局長を経由して国土交通大臣に提出しなければならない。（自動車事故報告規則第3条）（ ○ ）

問題 4 (運行指示書による指示等)

一般貨物自動車運送事業者等は、運行指示書及びその写しを運行の終了の日から3年間保存しなければならない。

(貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条の3第4項) (×)

問題 5 (事業の休止及び廃止)

一般貨物自動車運送事業者は、その事業を休止、又は廃止するときは、あらかじめその旨を国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法第32条)

(×)

問題 6 (定期点検整備)

一般貨物自動車運送事業の用に供する自動車は6ヶ月毎に定期点検整備を行わなければならない。(道路運送車両法第48条第1項)

(×)

問題 7

この法律は、私的独占、不当な取引制限及び不公正な取引方法を禁止し、事業支配力の過度の集中を防止して、結合、協定等の方法による生産、販売、価格、技術等の不当な制限その他一切の事業活動の不当な拘束を排除することにより、公平且つ自由な競争を促進し、事業者の創意を發揮させ、事業活動を盛んにし、雇傭及び国民実所得の水準を高め、以て、一般消費者の利益を確保するとともに、国民経済の民主的で健全な発達を促進することを目的とする。

(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第1条) (○)

問題 8 (事故報告)

事業者は、十台以上の自動車の衝突又は接触を引き起こした場合、死者又は重傷者が生じていなくても自動車事故報告書を提出しなければならない。

(自動車事故報告規則第2条2号) (○)

問題 9

一般貨物自動車運送事業者等は、必要に応じ、運行管理者の職務及び権限、統括運行管理者を選任しなければならない営業所にあつてはその職務及び権限並びに事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務の処理基準に関する規程を定めることができる。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第21条）

(×)

問題 10 (目的)

この法律は、貨物自動車運送事業法と相まって、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとし、並びに道路運送の分野における利用者の需要の多様化及び高度化に的確に対応したサービスの円滑かつ確実な提供を促進することにより、輸送の安全を確保し、自動車運送事業者の利益の保護及びその利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もって公共の福祉を増進することを目的とする。（道路運送法第1条）

(×)

問題 11 (運行管理者等の選任)

一般貨物自動車運送事業者は、一般貨物自動車運送事業者が行う運行管理に関する教育を行うことにより、従業員のうちから運行管理者の業務を補助させるための者を選任することができる。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第18条第3項）

(×)

問題 12 (事業報告)

労使当事者は、時間外労働協定において貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者に係る一定期間についての延長時間について協定するに当たっては、当該一定期間は、2週間及び1箇月以上6箇月以内の一定の期間とするものとする。（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第4条4項）

(×)

問題 13 (過労運転の防止)

一般貨物自動車運送事業者等は、事業計画に従い業務を行うに必要な員数の事業用自動車の運転者を常時選任するよう努めなければならない。

（貨物自動車運送事業輸送安全規則第3条第1項）

(×)

Ⅱ. 次の問題 1 4 から 2 2 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題 1 4 (事業改善の命令)

国土交通大臣が一般貨物自動車運送業の適性かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときに、事業者に対し、必要な措置を命ずることができる事項として、下記の中で正しいものを 1 つ選び () 内に記入しなさい。

(貨物自動車運送事業法第 2 6 条)

- ア. 事業者の氏名、名称又は住所を変更すること。
- イ. 役員又は社員を変更すること。
- ウ. 運送約款を変更すること。

(ウ)

問題 1 5 (速報)

貨物自動車運送事業者等は、その使用する自動車について、自動車事故報告規則で規定する事故があった場合には 2 4 時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならないこととされている。次のア～ウについて、その速報対象となる事故として、正しいものには○を、誤っているものについては×を () 内に記入しなさい。(自動車事故報告規則第 4 条)

- ア. 2 人以上の死者を生じた事故 (○)
- イ. 自動車に積載されたコンテナが落下した事故 (×)
- ウ. 無免許運転に伴って発生した事故 (×)

問題 1 6 (事業報告書及び事業実績報告書)

事業者は貨物自動車運送事業報告規則に定める報告書を、提出期限までに提出しなければならないことになっています。次の①と②の報告書の報告期間及び提出期限をア～カの中から選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業報告規則)

- ① 事業報告書 (エ)
- ② 事業実績報告書 (イ)

- ア. 前年1月1日から12月31日までの期間に係るものを毎年5月31日まで
- イ. 前年4月1日から3月31日までの期間に係るものを7月10日まで
- ウ. 前年10月1日から9月30日までの期間に係るものを毎年12月31日まで
- エ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後100日以内
- オ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後120日以内
- カ. 毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後毎年5月31日まで

問題17 (運行指示書による指示等)

次のうち運行指示書による指示として正しくないものを1つ選び()内に記入しなさい。

- ア. 運行の経路並びに主な経過地における発車及び到着の日時
 - イ. 運行の経路上で交通取り締まり等がおこなわれている箇所の位置
 - ウ. 運行中乗務員の休憩が必要な場合の休憩地点及び休憩時間
- (貨物自動車輸送安全規則第9条の3) (イ)

問題18 (届出)

次の届出のうち誤っているものを1つ選び()内に記入しなさい。
(貨物自動車運送事業法施行規則第44条、貨物自動車運送事業報告規則第2条の2)

ア. 一般貨物自動車運送事業者又は特定貨物自動車運送事業者たる法人であって、役員又は社員に変更があった場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に届け出なければならない。

イ. 運賃及び料金を定め又は変更するときは、運賃及び料金の設定又は変更前30日以内に、運賃料金設定(変更)届出書を所轄地方運輸局長又は国土交通大臣に提出しなければならない。

ウ. 一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合は、当該事業の許可をした国土交通大臣又は地方運輸局長に届け出なければならない。

(イ)

問題 19 (運行管理者の業務)

貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定されている運行管理者の業務について、運行管理者が行わなければならない事項の () にあてはまる語句を下のア～シの中から選び () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第20条第1項第8号、第13号、第14号、第14号の2)

・運転者に対して (①) を行い、報告を求め、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存すること。

・ (②) 台帳を作成し、営業所に備え置くこと。

・乗務員に対する指導、監督及び特別な指導を行い、並びに運転者に対して (③) 診断を受診させること。

ア. 健康 イ. 運転者 ウ. 会議 エ. 選任 オ. 点検 カ. 適性
キ. 電話 ク. 初任 ケ. 乗務 コ. 点呼 サ. 給与 シ. 道路

① (コ) ② (イ) ③ (カ)

問題 20 (自動車に関する表示)

次の条文中、 (①) にあてはまる正しい語句を、ア～ウの中から選び () 内に記入しなさい。

自動車(軽自動車たる自家用自動車、乗車定員十人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。)を使用する者は、その自動車の外側に、使用者の氏名、 (①) その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。(道路運送法第95条)

ア. 住所及び連絡先

イ. 名称又は記号

ウ. 営業所及び所在地

① (イ)

問題 2 1 (駐車及び停車を禁止する場所)

停車または駐車をしてはならない場所として正しいものを2つ選び () 内に記入しなさい。(道路交通法第44条第2号、3号、5号、6号)

- ア. 交差点の側端から3メートル以内の部分
 - イ. 横断歩道の前後の側端からそれぞれ前後に5メートル以内の部分
 - ウ. 乗合自動車の停留所を表示する標示柱が設けられている位置から5メートル以内の部分(当該停留所に係る運行系統に属する乗合自動車の運行時間中に限る)
 - エ. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に10メートル以内の部分
- 順不同 (イ) (エ)

問題 2 2 (事業計画)

一般貨物自動車運送事業者は、事業計画の変更をしようとするときは、認可又は届出が必要となります。次のア～ウについて、認可事項に該当するものに○を、そうでないものに×を () 内に記入しなさい。(貨物自動車運送事業法第9条第1項、第3項、貨物自動車運送事業法施行規則第2条、第6条、第7条)

- ア. 営業所又は荷扱所の名称の変更 (×)
- イ. 休憩又は睡眠施設のための施設の位置及び収容能力の変更 (○)
- ウ. 貨物自動車利用運送を行うかどうかの別 (○)